

テーマ：**『京保フタバアオイ育成PJ』** **「環境を整え生命を育む」学び** にむけた新たな取り組み

カテゴリー：③ 教育方法

学校概要

学校名：京都保健衛生専門学校



所在地：京都市上京区千本通竹屋町東入主税町 910 番地

課程名：看護学科三年課程 1 学年定員数 40 名 修業年限 3 年間



フタバアオイの様子

本校では 2026 年 4 月 17 日、**京都市の「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト」**に認定いただき、一般財団法人 葵プロジェクトのご協力の下、京都の伝統植物である『フタバアオイ』を学内で育てる取り組みを始めました。

取り組みの背景

本校は昭和39年の創立以来、京都市に根付いた学校教育活動を行っています。京都市内外から入学する学生に対して、京都文化への理解の第一歩とする学修内容にも力を入れてきました。

(2023 年度報告「京都文化の探求」)

今回、その学びの幅を広げ、以下の 2 点を目指します。

(1) 京都の文化と生き物との結びつきから

生物多様性保全についての理解を広げること

(2) 生物を育てることで、看護の基本となる

「環境を整え生命を育む」ことを実感し、学びに繋げること

『京の生きもの・文化協働再生プロジェクト』とは？

現在京都市では、「京都らしさ」を支える生物資源の減少等、様々な生物多様性の課題が挙げられており、これらの課題を解決するために様々な取り組みが進められています。

2021 年より 10 年間の計画で

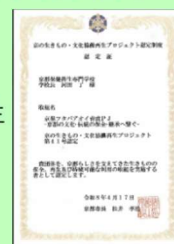
「京都市生物多様性プラン」が

掲げられ、このプランに沿った

生物多様性に関する活動は精査の

もと、『京の生きもの・文化協働再生プロジェクト』に認定されます。

2026 年 4 月 17 日認定！！



「フタバアオイ」って??

葵祭(賀茂祭)は、世界遺産である「賀茂神社」の祭であり、祇園祭・時代祭と並ぶ京都市三大祭の一つです。その呼び名は、祭に葵(フタバアオイ)を多く用いたことに由来します。毎年5月15日に行われる「路頭の儀」(行列)では、桂の小枝に賀茂神社の神紋であるフタバアオイの葉を絡ませた『葵柱(あおいかつら)』が、牛車(御所車)、勅使、供奉者の衣冠、牛馬などすべてに飾り付けられます。使われる葉は約一万枚とも！

フタバアオイは自然だけでは繁殖しにくく、近年の自然災害や環境の変化で二葉葵の自生地は激減しています。古式に則った葵祭の継承を守るため、フタバアオイを育て葵の森へお返しするプログラムが『葵プロジェクト』です。



フタバアオイを通して『環境を整え生命を育む』学びへ 期待する効果

看護学科一年生は、「看護とは何か」について学習しますが、まだ看護を実感する機会は多くありません。そこで、生物を育てることで、身近な日常生活の中にも「環境を整え生命を育む」という「看護の本質」があることを感じ取ってほしいと考えています。

言葉を発しない植物の場合、育てる側が観察し、その環境を整え、必要とされることを推察し援助するといった、認識(気づき)が必要です。

学生たちが継続的に育成に携わることによって、変化を感じ、自ら行動し、環境を整えることがいかに重要であるかを理解するきっかけになることを期待しています。

4 月から現在(6 月)の活動の様子から

4 月 10 日「葵プロジェクト」の皆さんと



フタバアオイを植えました

4 月 17 日京都市のPJ認定！



有識者の方より、「看護の視点から取り組むことも独創的」とのご意見をいただきました

5 月 9 日 葵里帰り式の様子見学



来年は京保育ちの里帰りを目指します

5 月 19 日 京都文化の探求



賀茂神社の葵の森見学へ

5 月 26 日 中庭にて



遮光ネットで暑さ対策

入学間もないうちに始めた取り組みでしたが、水やりをしたか、お互い声を掛け合って取り組んでいる様子がみられ、自主性やクラス内での結束力を高めるきっかけになっているのではないかと感じています。来年の葵祭に本校のフタバアオイが里帰りできるよう、引き続き取り組みを進めていきます。

